

文化財の現地特別公開

令和7・8年に新たに新宿区指定文化財となった文化財を特別公開します。雨天決行、申込不要。会場に直接お越しください。

10月11日(日) 午前10時～午後3時

せんぎょうじ もくぞう あみだ によらいりゅうぞう

専行寺の木造阿弥陀如来立像

専行寺(新宿区原町3-26) 都営大江戸線「牛込柳町」駅(西口)より徒歩4分

専行寺本尊の阿弥陀如来像で、平安時代末から鎌倉時代初めの制作と推定されます。令和3年～5年に保存修理が行われ、制作された当初の姿が明らかになり、その像容と作風から制作時期が明らかになりました。区内で確認された最も古い時代の仏像のひとつです。



専行寺の木造阿弥陀如来立像

10月31日(土) 午前10時～午後3時

じょうりん じ か き より あいがきびょうぶ

浄輪寺の花弁寄合描屏風

浄輪寺(新宿区弁天町95) 都営大江戸線「牛込柳町」駅(東口)より徒歩5分

日本画家・荒木寛畝とその門人ら計35名による二曲一隻の屏風で、明治39年(1906)寛畝の妻の一周忌に、供花として四季の花木を描いたものです。幕末から明治時代にかけて活動した寛畝とその一門の様子や、寛畝が晩年に到達した画境をうかがい知ることができる作品です。



浄輪寺の花弁寄合描屏風

11月3日(火・文化の日) 午前10時～午後3時

す わ じんじゃ え ま どうほうのうぶつ

諏訪神社の絵馬等奉納物

諏訪神社(新宿区高田馬場1-12-6) 東京メトロ副都心線「西早稲田」駅(2番出口)より徒歩3分

諏訪神社に伝わる絵馬や奉納額などです。江戸時代から昭和時代まで計61点ありますが、今回はその一部を公開します。公開予定の寛政7年(1795)の「諏訪大明神祭礼図」は、江戸時代の諏訪神社境内の様子を今に伝え、地域の歴史や文化を知るうえで貴重な絵馬です。



諏訪大明神祭礼図

- ◆主催：新宿区
- ◆協力：専行寺・浄輪寺・諏訪神社(公開日順)
- ◆問合せ

新宿区文化観光産業部文化観光課文化資源係

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-5-1

TEL 03-5273-4126 / FAX 03-3209-1500

(公開日はいずれも閉庁日のため、当日のお問い合わせはお受けできません)

◆当事業の詳細は区公式HPをご確認ください



◆新宿文化観光資源案内サイト
「温故知しん!じゅく散歩」

